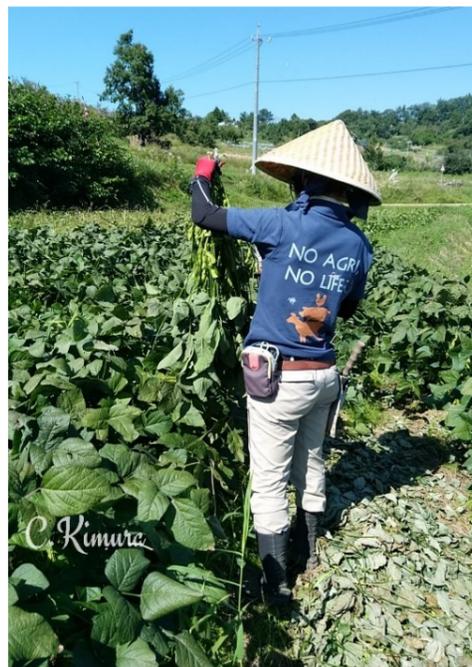




ササングレの刈り入れもなんとか無事に終了し、そろそろ脱穀、、、と同時に収穫の最盛期を迎えるのは、秘伝豆の枝豆。

今年も最高の実りに感謝です。6品種のダイズを作っているけれど、秘伝は格別。その粒の大きさ、色の美しさ、抜群の香り、甘み、コク、すべてが突き抜けて最高に美味しい品種です。枝豆としての収穫時期は、9月下旬から10月にかけてのわずか1週間から10日程。この記事を書いている10月上旬、枝豆としての収穫はすべて終了。あとはダイズとして登熟していくのを見守るのみです。



12月に入ると、今年もそろそろヘーゼルナッツの植え付けの時期。若林地区の約20アールの一画で、植え付けの準備をしています。ヨシとクズと灌木に覆われてしまっていた荒廃地でしたが、4回目の刈り倒しで植生はだいぶ変化し、生えてくる草の種類にもようやく多様性が出てきました。

(下の写真↓は3回目の刈り倒し時)



草は生えてきてくれないと困るのだけれど、数種類だけの草で覆われているのもちょっと困る状況です。マメ科、イネ科、キク科、アブラナ科、シソ科、その他10種類以上の背の低い草が生えている環境にしたものです。

木村智佳子

信里キャプチャー会の活動について

会長 島田 稔

地域の皆様には、信里キャプチャー会の活動にご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。当会は、信里地域有害鳥獣対策委員会に協力している団体で、同委員会から運営補助金の交付と捕獲依頼を受けて、有害鳥獣の捕獲を行っています。

会員のほとんどは、農作物被害対策として、有害鳥獣を自分で捕獲するために狩猟免許等を取得した人たちで、現在13名が長野市から鳥獣被害対策実施隊の任命を受け、信里地区一円で有害鳥獣を捕獲することが認められています。

捕獲が許可されている獣は二ホンジカ、イノシシ、タヌキ、ハクビシン、アナグマ、キツネで、捕獲には「くくり罠」や「箱罠」を使用し、その設置場所に標識を付けて、毎日又は一日おきに見回りを行います。捕獲作業は特に危険を伴いますが、こうした活動は全て会員個々の自己責任と自己負担で行われています。

また、会員が地域の方から有害鳥獣の捕獲を頼まれた場合は、現場を確認し、可能であれば罠を設置していますので、お困りの方は会員にご相談ください。実際に捕獲できた事例もあります。

昨年度に当会が捕獲した有害獣の総数は82頭です。その内、ジビエとして活用されたのは二ホンジカ28頭で、その他は全て埋設処理をしています。

そして、この埋設処理の場所の確保に大変難儀していますので、有害鳥獣対策委員会等で大局的な観点から適所を選定していただきたいと思っています。

当会では、有害鳥獣の捕獲活動を通して、地域の安全と農作物被害の軽減に貢献してまいりたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



空き家相談室より

信里の空き家問題について考える「信里田舎暮らしを推進する会」の作業部会“空き家相談室”では皆様からの空き家や宅地の相談を受け付けています。信里を離れた親戚や知人からの空き家や宅地を手放したいと相談を受けている、近所に空き家があるけど手入れされて無くて危険や不安がある、知り合いが信里への引っ越しを考えているけど空き家や宅地があるのかなどのお家に関する相談、悩み事がありましたらお気軽にお声がけください。

空き家相談室メンバー

- 中島 法子 (有旅一)
- 中島 愛子 (上有旅)
- 北澤 良子 (笹鍋)
- 新井 千寿 (遊谷)
- 橋本 太郎 (若林)

026-274-5206 (事務局)

調査提言部会より

第3号の「信里だより」をお届けします。

今回の記事につきましては、総務部会より地域委員長を選考するための地域委員長選考委員会が行われ、その途中経過を報告していただきました。また、信里地域で農作物の動物被害対策等の活動をされている有害鳥獣対策委員会に所属するチャプター会の記事、引き続き篠ノ井歴史の会の記事は、昭和時代の古い写真を載せていただきました。地域おこし協力隊の木村さんには農作物の事や荒廃地の活用について記事を書いていただきました。

記事を提供していただいた方々には、農繁期の忙しい中、執筆いただきありがとうございました。

毎回掲載していますが、信里地域委員会の公式WEBサイトとスマートフォンからもご覧いただけますので是非アクセスしてみてください

今回は信里各地域の事を記事にしたいと準備を進めています。地域の方々のご協力をお願いいたします。



〈前回クイズ〉

信里村が篠ノ井町へ合併したのはいつですか。

〔①昭和25年 ②昭和30年 ③昭和34年〕

昭和28（1953）年施行の「町村合併促進法」に伴い、同29年3月、信里村には七二会村と篠ノ井町から合併の勧誘があり、4月各区から選出された委員によって「町村合併調査研究会」が設置され、研究が始められました。

山村山地区（夜交・大久保・秋古・村山・粒良田・瀬成）は同じ環境条件の犀川ベリを中心とした山間村であることなどから、七二会村・更府村との合併を、他地区は発展途上にある篠ノ井町との合併を主張しました。そのころの長野県の合併案は、篠ノ井町“信里村・共和村（昭和29年篠ノ井町と合併）・中津村・御厨村・川中島村・西寺尾村（昭和30年松代町と合併、同32年一部地区が篠ノ井町に編入）を1つにする案でした。

信里村は、その後、村の大勢が篠ノ井町との合併の方向になり、昭和30年2月「篠ノ井町信里村合併促進協議会」を発足させました。しかし、山村山地区では「信里村分村促進協議会」を発足させ、分村しても七二会村との合併をはかろうとして、192人の署名をもって、神農安衛村長（犬石）に分村の具申書を提出しました。村当局は事態の収拾をはかるため、「分村して合併することはいずれも利益がなく、全村一致で篠ノ井町との合併をはかるべきである」とし、話し合いを重ねて篠ノ井町との合併にまとまりました。

これによって、昭和30年3月9日に両町村の議会が開かれ、反対はなく合併関係議案の議決がなされ、同年4月1日、66年間続いた信里村は正式に篠ノ井町と合併し、地図の上から姿を消したのです。（合併時の信里地区:戸数558、人口3,141人）

その後、篠ノ井町は篠ノ井市（昭和34年5月1日発足）となり、昭和41年10月16日に長野市と合併したのは、皆さんがご存じの通りです。したがって、前回のクイズの答えは「②」です。



信里村役場の改築（昭和24年）
（「篠ノ井農協だより 第208号」より）

（付記）

1 山村山地区の要望だった合併の条件「小学校村山分校を6年制に改め改築する」は、残念ながら実現しませんでした。（昭和29年分校新校舎落成、平成7（1995）年3月分校閉校）

2 昭和24年に改築された信里村役場は、その後「信里連絡所」として建物は使用されてきましたが、信里合同庁舎の完成で取り壊され、跡地は農協の給油所となりました。（平成18年3月給油所閉店）

〈クイズ〉

信里村発足によって最初に旧有旅村・旧山布施村の境に建設が予定された建物はどれですか。

答えは次回のお話で。

〔①村役場 ②小学校 ③駐在所〕

《お知らせ》

1 信里地区の歴史資料（書籍・文書・写真など）を収集しています。収集した資料は来年開設予定の「デジタル図書館」へ寄贈して、永年保存していただく予定です。信里連絡所・信里合同庁舎に保存されていた区長会や分館の資料が処分されてしまったので、広く信里地区の皆さんにお願いすることになりました。将来的には「篠ノ井市誌編纂」にもつながると思います。貴重な写真などは複写・デジタル化などをして返却いたします。『しののい交流センターだより（令和4年7月号）』『有放だより（令和4年5月10日発行）』もあわせてご覧ください。お問い合わせは、信里地域委員会事務局（信里合同庁舎2階）までお願いします。

2 信里地区の集落名の由来を調べています。諸説あるとは思いますが、自分が住んでいる地区の由来を知ることは、地元を誇りを感じることもつながります。信里地域委員会事務局（信里合同庁舎2階）まで、お知らせください。

3『信里地区史跡・名所巡りガイドマップ（改訂版）』が事務局に置いてあります。興味ある方はどうぞご覧ください。

篠ノ井歴史の会 島田利男

信里地域委員長選考方法検討委員会中間報告

座長 南沢 法幸

信里地域委員会会則では、委員長を含む役員の任期は2年となっています。

しかし、昨年令和3年度末に佐藤委員長の任期満了を迎えましたが、後任者の選出ができない事態となっています。そのため令和4年度も引き続き佐藤委員長に担当していただいています。このことから、地域委員長の選考方法について、今年度の総会において別途検討委員会を設けて選出方法を検討することが提案され承認をされました。

6月の三役会において、委員長から「信里地域委員長選考方法検討委員会」を設けて選出方法を検討する提案があり、下表のメンバーで7月に発足をいたしました。

検討委員会はこれまで7月3日の第1回から10月30日の第5回の会議を重ね検討をし、10月31日付で検討結果報告を委員長に答申しました。これまでの会議で検討された主な項目をお知らせいたします。

＜検討委員会結果＞

・地域委員長の選出は総務部会において選考委員会を設ける。

・付則事項として以下の三点を加える。

（1）組織の改編を行い、副委員長を3名（女性含む）とし、各部会の支援と総括をする。

・1名は総務部会長兼務（総務部会担当）

・1名は総務部会が選出（教育・公民館部会担当）

・1名は社会福祉部会・調査提言部会が選出（同二部会担当）

・委員長は地域振興・環境・安全部会担当

（2）会則の改定を行う

（3）委員長並びに副委員長の手当を見直す



地域委員会役職	氏名
顧問	南沢 法幸（座長）
委員長経験者	北澤 民雄
区長会長経験者	小池 嘉寿雄 島田 利男
副委員長経験者	中島 法子
令和4年度副委員長（各部会長）	島田 賢一 酒井 英利 坂巻 巨任 野沢 清子 島田 喜志子
事務局長	橋本 太郎
委員長	佐藤 政茂（オブザーバー参加）

信里地域委員会公式WEBサイト

<https://nobusato.net/>

信里地域委員会の情報や信里だより、空き家情報、地域委員会や事務局スケジュールなど様々な情報を発信しています。

スマートフォン・タブレットからもご覧いただけます。

